

## プロジェクター受注に必要な基礎用語

### ・解像度（単位：ドット、画面の表示モード、画面の縦横の表示画素数、アプリケーションの制約やユーザーの好みによって設定が変わる）

ソフト的に変更が可能で、機種からでは判断できない。

解像度は、プロジェクターの機種を判断する最大のポイント。これを正しく判断しないと、正常に映らない。

原則的に上位互換ではあるが、価格面に大きな差が出るので、ニーズに合った商品を選択するべきである。

画素数	通称	現在の状況
1600 × 1200	U-XGA	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークステーションクラスやDTP業界が使用するといわれる解像度。</li> <li>・よほど特殊な業界のみがリクエストしてくると思われるが、いままで一度も無い。</li> <li>・S-XGA対応機種、最近のXGA対応機種で簡易対応が可能（要確認）。マルチコンバーターやXG5000では対応できない。</li> <li>・この解像度をフル投映できるプロジェクターは、当社では保有していない。</li> </ul>
1200 × 1024	S-XGA	<ul style="list-style-type: none"> <li>・21インチ以上の大型モニターを想定して開発された解像度。</li> <li>・ノートパソコンでの使用はほとんどない。</li> <li>・研究開発や医療機関など、レンタル需要の中では限られていたが、最近になって徐々にニーズが出てきている。</li> </ul>
1024 × 768	XGA	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、主流の解像度。</li> <li>・17インチ以上のモニターを想定して開発された解像度。</li> <li>・最近の新機種パソコンは、ほとんどこの解像度を使用している。</li> <li>・画像や表計算ソフトなど、一度に多くの情報を見せたい場合に、必須条件になることがある。</li> <li>・PowerPointなどでのプレゼンでも、内容によっては必要になることもある。</li> <li>・解像度という言葉を知らない人には、だいたいこれをお勧めして無難。（価格に問題なければ）</li> <li>・今後当社が購入するプロジェクターは、この解像度以上のものになる予定である。</li> </ul>
800 × 600	S-VGA	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の必要最低といわれる解像度。</li> <li>・15インチ以上のモニターを想定して開発された解像度。</li> <li>・一昔前のパソコンで標準使用されていた。</li> <li>・これ以上の解像度のパソコンでも、特に細かい表示をさせないならこの解像度に落としてもらっても問題ないと思われる。</li> <li>・PowerPointなどでのプレゼンなら、大体この解像度で対応可能。</li> </ul>
640 × 480	VGA	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初に開発された解像度。</li> <li>・現在ではもうほとんど使われていない。</li> <li>・最近のノートパソコンでは、もうこの解像度を出力できないようになっている。</li> <li>・レンタルではほとんど無視しても良く、S-VGAとして扱う。</li> </ul>

レントオール江戸川（協力：西尾レントオール 通信レンタルセンター）